

由良川水系河川整備計画の進捗状況

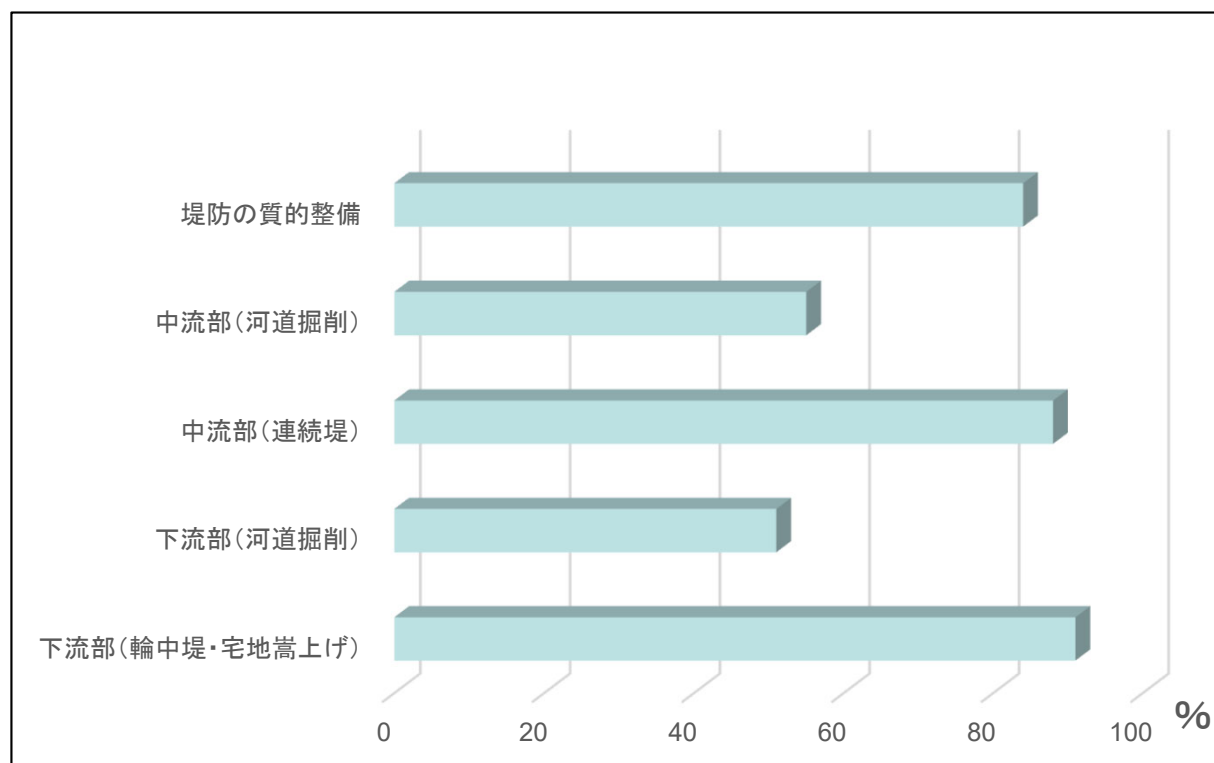
令和7年12月9日

国土交通省 近畿地方整備局
福知山河川国道事務所

由良川水系河川整備計画の改修事業進捗状況

- ・現在の河川整備計画における改修事業の進捗状況は下記のとおりとなっている。
河道断面を拡幅するための河道掘削が50%程度、堤防整備等の河川改修事業が80%以上の整備状況となっている。
- ・整備計画の断面拡幅以外の引き続き実施する整備内容は、由良地区輪中堤、岩沢堤堤防強化、高畑地区連続堤、並松地区連続堤の整備である。岩沢堤以外の箇所は現在施工中、岩沢堤も設計を完了したところである。

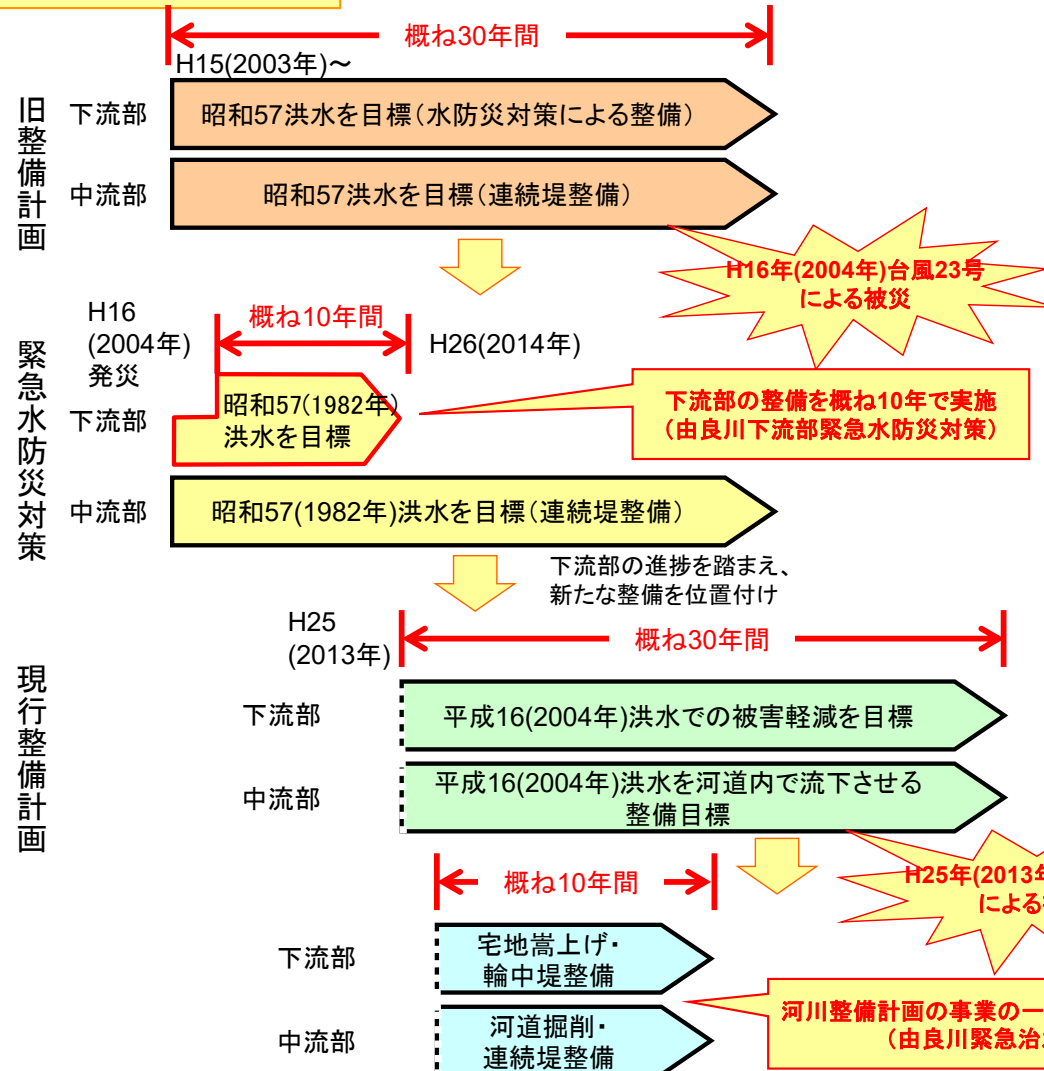
○改修事業進捗率



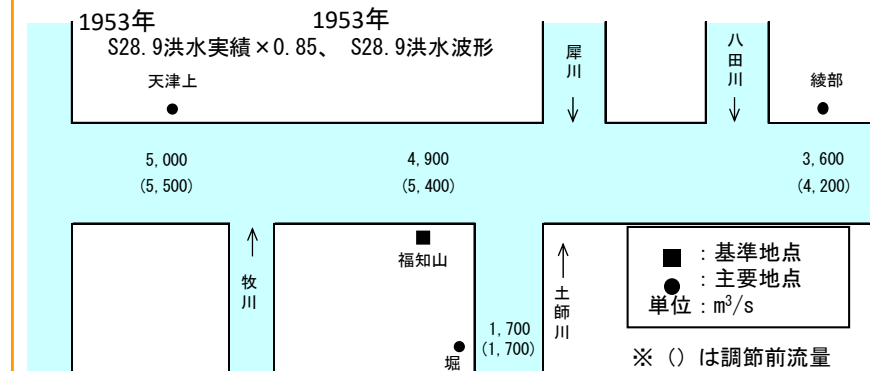
由良川水系河川整備計画について

○由良川では、平成11年(1999年)12月に長期的な河川整備の目標となる洪水の規模(基本高水)を基準地点福知山において、6,500m³/sとする「由良川水系河川整備基本方針」を策定。これに基づき、平成15年(2003年)8月に「由良川水系河川整備計画」を策定。その後の経緯は以下のとおり。

整備計画推移の概要



現行計画での主要地点における目標流量配分図



気候変動を考慮した河川整備基本方針の変更

治水計画を、「過去の降雨実績に基づく計画」から
「気候変動による降雨量の増加などを考慮した計画」に見直し

これまで

洪水、内水氾濫、土砂災害、高潮・高波等を防御する計画は、
これまで、過去の降雨、潮位などに基づいて作成してきた。

しかし、
気候変動の影響による降雨量の増大、海面水位の上昇などを考慮すると
現在の計画の整備完了時点では、実質的な安全度が確保できないおそれ

今後は

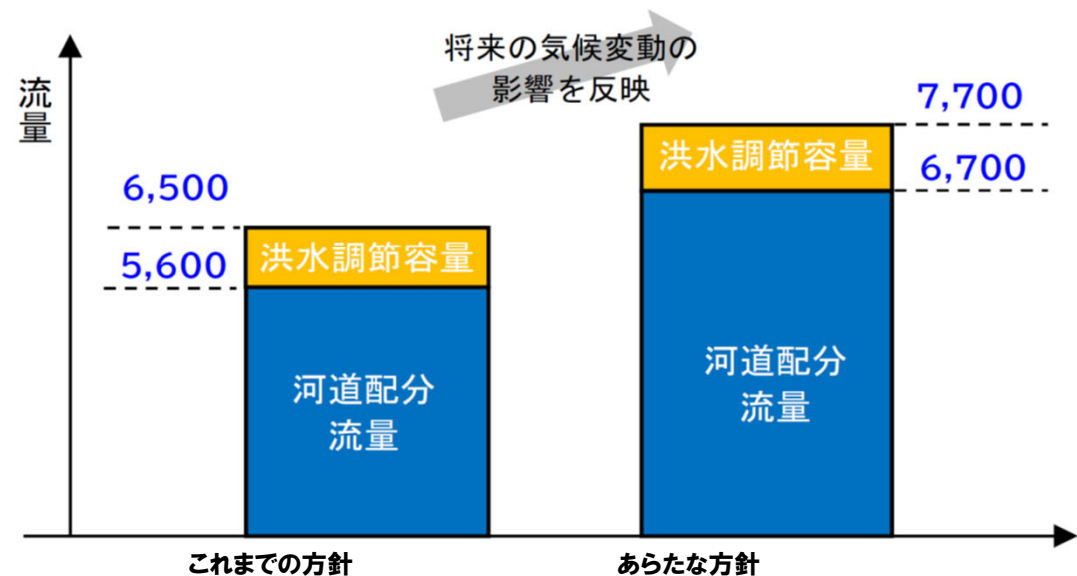
気候変動による降雨量の増加※、潮位の上昇などを考慮したものに計画を見直し

気候変動シナリオ	降雨量	流量	洪水発生頻度
2℃上昇相当	約1.1倍	約1.2倍	約2倍

※ 世界の平均気温の上昇を2度に抑えるシナリオ（パリ協定が目標としているもの）

基準地点：福知山

河道と洪水調節施設等の配分流量



令和5年8月 基本方針変更

河川整備計画の進捗状況を踏まえた沿川自治体からの意見

・由良川治水促進同盟会に河川整備計画の進捗状況を説明したところ、下記のような意見をいただいている。

直近3カ年の進捗点検について確認させていただき、令和5年度に気候変動の影響を考慮した基本方針の変更が行われ、現行の整備計画に記載された改修工事も概ね完了の見込みとを確認した。今後も切れ目無く事業が進捗し、由良川の治水安全度が上がるよう早期に河川整備計画の変更をしていただきたい。

なお、変更にあたっては、気候変動により想定以上の洪水が発生する可能性もあることから、平成16年の出水時に効果を発揮した大野ダム等既存ダムの更なる有効活用や遊水地などを含め、超過洪水時の対応もできるよう、より安全な由良川流域を目指す計画となるよう京都府など関係機関と連携を深めていただきたい。

【同盟会各市町の意見】

○河川整備計画に位置付けられている地区（高畑、並松、由良・石浦）の早期整備

〔福知山市、綾部市、宮津市〕

○岩沢堤の安全性の高い対策の実施〔福知山市〕

○内水被害を軽減するため由良川本川の河道掘削・樹木伐採の推進及び財政支援

〔福知山市・舞鶴市・綾部市・宮津市〕

○流域治水プロジェクト2.0の推進